

<第6回産業医学合同オンラインフォーラム開催>

1月25日（木）に本学が覚書を締結しているインドネシア大学(UI)、タイのノパラット・ラジャタナー病院(NRH)、韓国カソリック大学（CUK）及び本学（UOEH）の4機関共催で産業医学合同オンラインフォーラム（“UI-NRH-UOEH-CUK Joint Interesting Occupational Medicine Regular Forum”）を開催しました。

本フォーラムは参加国における産業医学に関する法制度や実践について理解し合うことを目的とし、ホスト国の産業医学レジデントによる発表及び参加機関の産業医学レジデント間でのディスカッションにより構成されており、2022年9月から3か月に1回開催しています。今回からは、韓国カソリック大学も共催機関として参加することとなりました。

第6回となる今回は本学がホストとなり、「Medical Health Checkup in Japan」をテーマに植月三咲子先生（産業保健経営学）と古江晃子先生（両立支援科学）による発表の後、参加者による活発なディスカッションが行われました。今回は4機関合わせて116名が参加し、有意義なフォーラム開催となりました。



発表の様子



発表スライドから



オンライン参加者（一部）



学内会場の様子